

## 「モーシオンタイトの開発についてⅡ」

モーシオンタイトの販売をスタートして 2 年が経過しました。去年は、提携先が増えるとともに大手企業での採用も増え、まさに販売元年ともいえる年になりました。安全を支える重要部品としての採用も多く、「価格は標準品とほとんど変わらないのに性能は圧倒的に優れている」という点が評価されたのではないかと思います。又、提携先の皆さんの販売努力のおかげでもあると感謝しています。

さて、今年の開発目標は、至難の業とされてきたアルミボルトの疲労強度を向上させることです。軽量化のために欧州では自動車への採用が増えていますが、日本でもその動きは早まっています。強度面で不安が残るアルミボルトの疲労強度を上げることができれば、燃費向上にも大きく貢献できます。「緩みにくく折れにくい」というモーシオンタイトの特徴が、アルミなどの材料でも適用できれば、海外への普及も早まるのではないかと期待しています。

去年は、中小企業が大企業に立ち向かう「下町ロケット」が大きな話題を呼びました。あの物語のように、モーシオンタイトが本当にロケットに採用される日がくるかもしれません。その日に備えて、これからもモーシオンタイトの性能を高め続けていきたいと考えています。

有限会社アートスクリー  
代表取締役 松林興